

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 部 2 年 2 部 3 年	社会的養護Ⅱ	阿部 仁	
サブタイトル	社会的養護観を身につける	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	前期	出席要件	4／5 以上
到 達 目 標			
本科目の到達目標は次の 2 点である。 1. 「社会福祉」、「児童家庭福祉」、「相談援助」、「社会的養護Ⅰ」、「保育実習指導Ⅰ（施設実習）」、「保育実習指導Ⅲ（施設実習）」等の教科内容と連動させて、「施設実習」に関連する基本的知識の整理や施設保育士の責務等の理解を目指す。 2. 「施設養護の実際について」の学習を通して、自らの社会的養護観を形成する。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目は、とくに「専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている」ことを目指す。 保育士資格取得後、職業選択のひとつとして「施設保育士」を志向する場合がある。 各種施設において求められる「保育士像とは何か」を探る。			
授 業 の 方 法			
演習形式の授業形態を基本とする。 場合によっては遠隔授業もある。 基本的な用語を身につけるために、授業シートを用いて振り返りを行う。 授業に主体的な参加を行うために、アクティブ・ラーニングの手法をおり込んだ授業方法を取り入れる			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：とくに指定しない。 教 材：必要に応じてプリントを配付する。 DVD等視聴覚教材を活用する。 参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』チャイルド本社 2017 年 社会的養護のテキスト。適宜、参考文献を紹介する。			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1. 授業内で数回課題を設定し、レポート提出を求める		定期試験	50%
2. 受講記録としてのノート提出		レポート	30%
3. 授業への取り組み姿勢・貢献度		ノート	10%
4. 定期試験		授業への取り組み	10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
日常的に、施設関連の情報に留意すること。 メール abehit@wa.seitoku.ac.jp			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	＜ ガイダンス＞ 授業方針の確認 保育士資格と各種施設との連関について理解する	保育士資格についての再確認
2 回	＜「社会的養護」とは何か＞ 家庭養護との違いを認識する	社会的養護、家庭養護の理解
3 回	＜社会的養護の基本原理＞ ① 人間性の回復と形成 「パーソナリティ形成と社会化」について概説する	パーソナリティ形成の理解
4 回	② 援助の個別化 ③ 集団生活の活用 ④ 親子関係の調整 ⑤ 積極的な社会参加	社会的養護の基本的理解
5 回	＜施設養護の実践的方法とその展開＞ 児童養護施設の事例から学ぶ（１） ① DVD 視聴 ② まとめ	児童養護施設の子どもの様子を理解
6 回	③ 検証 グループ討議・発表	児童養護施設の保育者の役割の理解
7 回	児童養護施設の事例から学ぶ（２） ① 資料読み込み ② まとめ	児童養護施設の子どものかかえる問題状況の把握
8 回	③ 検証 グループ討議・発表	児童養護施設の子どもの心の動きの理解
9 回	＜実習経験者の終了後レポートから学ぶ＞ 各種施設の実習内容、実習課題とその達成状況 ① 児童養護施設 ② 乳児院	各種施設の理解
10 回	③ 母子生活支援施設 ④ 福祉型障害児入所施設（知的障害児施設）	各種施設の理解
11 回	⑤ 障害者支援施設（知的障害者施設） ⑥ 医療型障害児入所施設（肢体不自由施設）	各種施設の理解
12 回	⑦ 医療型障害児入所施設（重症心身障害児・者施設）	各種施設の理解
13 回	＜自己の実習体験を振り返る＞ 施設実習の概要、感想をまとめる ① レポート作成	実習施設の概要理解
14 回	② 検証 グループ討議・発表	施設実習で学んだ内容についての確認
15 回	＜まとめ＞ 授業内容の総括を行う	社会的養護観の確認
試験	定期試験	

